



MASTER FIDELITY NADAC L

Linestage Preamplifier

¥4,840,000（税込） ¥4,400,000（税別）

プロフェッショナルの血統を継ぎ、ハイエンドの極致へと到達した「NADAC L」。
Merging の DNA を宿す Master Fidelity が世に問う、ラインステージ・プリアンプ。
それは、NADAC D と NADAC C の真価を解放し、リスナーを至高の音楽体験へと導きます。

NADAC という名称は、スイスのプロフェッショナル機器メーカー、Merging Technologies がリリースしたコンシューマ向け DAC と Clock に初めて使われました。これらの製品は、Merging Technologies とバンクーバー拠点の Merging Fidelity によって共同開発されました。Merging Technologies は、2022 年に Sennheiser グループの傘下に入った後、主にプロフェッショナル市場に特化して事業を再構築しました。しかし、その時点までに、Merging Fidelity の開発チームは、すでに次世代の NADAC に関して大きな進展を達成していました。研究・開発を更に推し進めるため、Merging Fidelity は、社名を「Master Fidelity」に変更し、二世世代目の NADAC D と NADAC C を 2025 年にリリースしました。そして 2026 年、デジタルの真価をさらに高めるため、NADAC D と NADAC C のポテンシャルを極限まで引き出す、一切の妥協を排した、究極のラインステージ・プリアンプを創り出しました。

プレジジョン・アナログアッテネーター：カスタム ASIC 採用ボリュームコントロール

カスタムコンポーネントの設計・製造における「NADAC D」の経験に基づき、「NADAC L」には、半導体パートナーと共同開発した専用ボリュームコントロール・チップが搭載されています。JFET（電圧制御の可変抵抗動作）のような特性を持たせるように設計されたカスタム CMOS ASIC アーキテクチャを採用したこの高度なアナログ・アッテネーション・システムは、以下のパフォーマンスを実現します。

JFET そのものを使うのではなく、ASIC（エーシック）という「特注の専用 IC チップ」の中に、CMOS という最新技術を使って JFET と同じ動作をする回路をシミュレート（再現）しています。一般的なボリューム調整は、電気抵抗を切り替える際にノイズが出たり、音が痩せたりします。しかし、このチップ内では「電圧で音の流れをコントロールする」という JFET の仕組みを再現しているため、信号を汚さずに音量をコントロールできます。

- ・**クリックノイズのないスムーズな操作**：物理的なスイッチを切り替えないので、音量を変えるときに「ブチッ」というノイズが全く出ません。
- ・**0.1dB 未満の極めて優れたチャンネル・バランス**：左右の音量のズレ（ギャングエラー）が 0.1dB 未満という、人間の耳では判別不能なレベルまで抑えられています。極めて精緻な音像定位を実現し、ボーカルや楽器の実在感を鮮明に描き出します。
- ・**超低歪率（THD+n）**：回路内で発生する高調波歪みを極限まで抑え込むことで、楽器本来の音色や倍音成分を損なうことなく再現。弦楽器の繊細な擦過音やピアノの打鍵の震えなど、音の立ち上がりから消え際までの微細なニュアンスを、驚くほど滑らかに瑞々しい質感で描き出します。
- ・**高い信号対雑音比（SNR）**：極めて高い S/N 比が、リスニングルームに漆黒のような深い静寂をもたらします。音が鳴っていない瞬間の『静寂の気配』までもが伝わり、その静寂の中から音が立ち上がる際の爆発的なダイナミズムを余すところなく再現。微小信号の解像度が飛躍的に高まることで、ホールの残響音や空間の広がりがかつてないスケール感で眼前に広がります。
- ・**0dB から -60dB まで、正確な 1dB ステップでの調整**：一般的なボリューム回路とは異なり、どの調整段階においても周波数特性やインピーダンスの変化が極限まで抑えられています。音量を絞っても楽器のエネルギー感や空間の広がりが見失われることはありません。どのステップにおいても『音楽の骨格』が正しく保たれるため、小音量時でもソースに含まれる微細な情報を余すところなく堪能いただけます。

「NADAC L」専用チップは、自社開発の独自 DAC チップを搭載した「NADAC D」から始まった、Master Fidelity の設計思想を継承しています。シリコン（半導体）レベルからの設計を行うことで、「NADAC L」と「NADAC D」の両機は、汎用コンポーネントの限界を遥かに超えるパフォーマンスを達成しました。この統合的なエンジニアリング・アプローチこそが、NADAC システムを他のあらゆるハイエンドオーディオ製品から一線を画す存在にしている鍵となります。ボリューム回路を設計する際、一般的なアプローチでは、市販のボリューム用チップを使いますが、Master Fidelity では、「自分たちが理想とする音を出すためだけに、シリコンレベルから自社設計したチップ」を使っています。

ASIC（エーシック）とは、「Application Specific Integrated Circuit：特定用途向け集積回路」の略称で、特定の用途やタスクに最適化された複数の機能を一つにまとめた高性能な IC（半導体集積回路 / Integrated Circuit）のことを指します。

回路間の完全ガルバニック絶縁

アナログ・オーディオ回路とデジタル制御システムの間には、完全なガルバニック絶縁（電位的な分離）を施しました。これにより、操作系や表示系から発生するノイズ干渉を根底から排除し、音声信号の純度を極限まで維持しています。

プリアンプの内部には、大きく分けて2つの異なる世界が同居しています。

- ・アナログの世界：繊細な音声信号が流れる場所（音質の心臓部）。
- ・デジタルの世界：液晶ディスプレイ、ボタン操作、リモコン受信などを司る「制御（コントロール）回路」。

デジタルの制御回路は常に微細な「高周波ノイズ」を発生させています。これらが同じ電気の線を通してアナログ回路に流れ込むと、音が濁る、静寂感が失われる、高域がキツくなるといった悪影響を及ぼします。

通常、電気回路は「プラス」と「マイナス（アース）」がつながっていないと動作しません。しかしガルバニック絶縁では、「電気の直接的なつながりを物理的に断ち切った状態で、信号だけを伝える」という魔法のようなことを行います。これにより、デジタル回路で発生した「ノイズ」は物理的な壁に突き当たって止まり、「純粋な情報（操作コマンドなど）」だけがアナログ側に伝わります。この徹底したノイズ対策は、音楽に以下の劇的な変化をもたらします。

- ・背景の静寂が深まる：サーという微かなノイズが消え、音が鳴っていない瞬間の「完全な静寂」が感じられるようになります。
- ・音の輪郭がハッキリする：ノイズに埋もれていた微細な音が浮き上がり、シンバルの余韻やボーカルの息遣いが鮮明に聞こえるようになります。
- ・サウンドステージが広がる：左右や奥行き空間表現が濁りなく再現され、まるで演奏者が目の前にいるような立体感が生まれます。

相互作用が生む「ノイズの完全封じ込め」

「カスタム ASIC ポリウム」と「ガルバニック絶縁」。この2つの技術が組み合わさることで生まれる「究極の静寂」の正体を、さらに深く解き明かします。これらは、いわば「音の汚れを徹底的に入れないゲート」と「音の純度を100%守るバリア」の関係にあります。プリアンプにとって最大の障壁は、内部で発生するデジタルノイズです。NADAC Lはこの宿命的な課題に対し、相反する二つの領域を切り離す「バリア」と、信号経路そのものを純化する「ゲート」という、二段構えのアプローチで答えを出しました。

- ・ガルバニック絶縁（バリア）：まず、ディスプレイや操作スイッチなどの「デジタルの世界」で発生したノイズを、アナログ回路の入り口でシャットアウトします。物理的に線を切り離しているため、ノイズは「バリア」に跳ね返されて、アナログ側へ一歩も入れません。
- ・カスタム ASIC ポリウム（ゲート）：絶縁バリアを通り抜けたクリーンな「音量調整コマンド」を、今度は特注チップ（ASIC）が受け取ります。このチップは JFET ライクなアナログ方式で動くため、音量を変える瞬間もチップ内部で一切のノイズ（クリック音など）を発生させません。

外部（デジタル回路）からのノイズを「絶縁」で防ぎ、内部（ポリウム回路）でのノイズ発生を「ASIC」でゼロにする。この外と内のダブルブロックによって、リスナーは「完全な無音」を背景にした音楽を聴くことができるのです。多くのプリアンプは、音量を絞る（信号を小さくする）と、相対的にノイズの割合が増えてしまい、音が瘦せたり曇ったりしますが、NADAC L では、その常識を根底から覆します。

- ・絶縁のおかげで、もともとのノイズフロア（サーという底のノイズ）が極限まで低い。
- ・ASIC ポリウムが、信号の情報を間引くことなく「音の鮮度」を保ったまま小さくする。

これにより、夜中に小音量で聴いても、オーケストラの微細な楽器の配置や、歌手の小さな吐息までもが、漆黒の闇に浮かび上がる星のように鮮明に聞こえます。

完全なるデュアルモノ・アーキテクチャ

電源部から信号処理回路に至るまで、左右のオーディオ・チャンネルを完全に独立させた「デュアルモノ・レイアウト」を採用。この徹底した分離設計により、チャンネル間の相互干渉（クロストーク）を極限まで排除。比類なき定位感と精緻なセパレーションが、圧倒的な安定感とともに広大なサウンドステージを描き出します。

スーパーリニア・パワーサプライ・アーキテクチャ

NADAC L の電源システムの心臓部には、特注のトロイダルトランスが鎮座しています。コア材にはプレミアムグレードの中でも最高性能を誇るセグメントのみを厳選。1 ロールの素材からわずか 10 台分しか生産できないという、極めて希少かつ贅沢な素材選定を行っています。さらに、以下の設計を組み合わせることで完璧な電源供給を実現しました。

- ・理想的な整流設計「揺るぎない音楽の屋台骨」：AC-DC 変換時のロスを極限まで抑えた理想的な整流設計により、音楽のエネルギー源となるクリーンな電流を漏みなく供給します。オーケストラのフル・トゥッティ（全奏）のような大振幅の信号が要求される場面でも、電圧のドロップを防ぎ、音楽の『底力』を支えます。厚みがあり、重心の低い安定したサウンドの基盤は、この効率的かつ正確な電源供給から生まれます。
- ・トナリー・ニュートラルなコンデンサ・アレイ「深遠なダイナミズムと無垢な音色」：音色に特定の癖を与えない『トナリー・ニュートラルな特性を持つ大容量コンデンサを贅沢に配列しました。広大なエネルギー・リザーブ（貯蔵）を持つこのアレイは、急激な信号の変化にも余裕を持って追従し、音楽のダイナミックな抑揚を余すところなく再現します。特定の帯域を強調することなく、楽器本来の音色をありのままに描き出す、極めて純度の高い響きを実現しました。
- ・多段リニア・レギュレーター「圧倒的な静寂と鮮烈なレスポンス」：ノイズフロアの徹底した低減と、トランジェント・レスポンス（過渡応答）の最適化を両立する多段リニア・レギュレーターを搭載。背景にある微細なノイズを完全に封じ込めることで、音の立ち上がり立ち下がりを鋭く磨き上げました。打楽器の衝撃音や弦楽器のピチカートなど、一瞬の音の閃きを鮮烈に捉え、演奏のディテールを克明に浮き彫りにします。

これらが生み出すのは、極めてダイナミックかつノイズフリーな電源供給能力です。最も要求の厳しい（複雑でダイナミックな）楽曲のパッセージにおいても、揺るぎない音楽再生を支えます。

ハイパフォーマンス・入出力ステージ

- ・**真のフル・ディファレンシャル（バランス）設計「圧倒的な静寂とダイナミズム」**：すべての XLR 入出力に、信号のプラスとマイナスを完全に独立して扱う『真のフル・ディファレンシャル設計』を貫きました。伝送経路で混入するノイズを回路自体で打ち消す（コモンモード・リジェクション）能力により、背景のノイズフロアを極限まで低減。広大なダイナミックレンジと漆黒の静寂の中から、音楽の微細な粒子が鮮やかに浮き上がります。
- ・**最適化されたシングルエンデッド（アンバランス）回路「ピュアで鮮度の高い伝送」**：RCA 入出力に対しても、バランス回路の単なる流用ではなく、独立した専用のシングルエンデッド回路を贅沢に配置しました。信号の変換プロセスを最小限に抑えることで、アンバランス伝送ならではの瑞々しさと鮮度を維持。接続される機器の特性を問わず、録音ソースに含まれる情報をありのままに伝えます。
- ・**高リニアリティ・カレントドライバー出力ステージの効能「揺るぎない音楽の整合性と駆動性能」**：強力なカレントドライバー（電流駆動）能力を備えた出力ステージが、後段に続くパワーアンプを完璧にコントロールします。長いケーブルを引き回す環境や、複雑なインピーダンスを持つアンプとの接続においても、信号が歪むことなく、音楽のエネルギーバランスや位相の整合性を厳密に保持。どのような条件下でも、常に音楽の『芯』が揺るがない、深みのある豊かな響きを約束します。

柔軟な入出力構成

入力系統：バランス（XLR）4 系統 + シングルエンデッド（RCA）2 系統（計 6 系統から任意の 1 系統を選択可能）

出力系統：バランス（XLR）3 系統 + シングルエンデッド（RCA）1 系統（独立したコントロールが可能な計 4 系統の出力を装備）

高精度ピークレベルメーター

フロントパネルに配置されたメーターは、 $\pm 0.05\text{dB}$ という極めて高い精度を誇り、真のアナログ・スタイルによるピークモニタリングを実現します。リアルタイムなオーディオ・ダイナミクスを正確に可視化することで、確実なモニタリングを可能にするとともに、システムチューニングの強力な助けとなります。

デザイン・アイデンティティ

Master Fidelity の「デザイン」を体現するのは、シリーズ共通の重厚なアルミニウム筐体です。極めて精緻な加工が施されたその佇まいは、最高峰の精密機器を彷彿とさせる静謐な美しさを纏（まと）っています。単なる外殻にとどまらず、内部の繊細な回路を外部ノイズや振動から完全に守り抜くという、音質に対する執念がこの究極の機能美へと結実しました。



■入力端子	バランス（XLR）入力：4 系統 シングルエンデッド（RCA）入力：2 系統	■SNR（SN 比）	130 dBA（-3dB / 10Hz-20kHz / A-Weight） 136 dBA（-20dB / 10Hz-20kHz / A-Weight） 142 dBA（-40dB / 10Hz-20kHz / A-Weight）
■出力端子	バランス（XLR）出力：3 系統 シングルエンデッド（RCA）出力：1 系統	■周波数特性	$\pm 0.08\text{ dB}$ 以内（10 Hz - 200 kHz）
■最大入力電圧	バランス入力：標準 10 Vrms / 最大 12 Vrms シングルエンデッド入力：標準 5 Vrms / 最大 6 Vrms	■アナログ・ゲイン	1dB ステップ / 全 60 段階
■入力インピーダンス	バランス入力：500 k Ω シングルエンデッド入力：500 k Ω	■チャンネル・ゲイン偏差	0.03 dB 未満（すべてのゲイン・ステージにおいて）
■出力インピーダンス	バランス出力：200 Ω シングルエンデッド出力：100 Ω	■チャンネル・位相偏差	0.1 度未満（10 Hz - 20 kHz）
■入力ステージ・カップリング	高精度 AC カップリング	■L/R チャンネル・セパレーション	130 dB 以上（10 Hz - 20 kHz）
■入力 CMRR（同相信号除去比）	80 dB 以上（10 Hz - 20 kHz）	■入力チャンネル間セパレーション	130 dB 以上（10 Hz - 20 kHz）
■THD+n（全高調波歪率+ノイズ）	0.00012%（-3dB / 1kHz / 10Hz-20kHz） 0.0002%（-20dB / 1kHz / 10Hz-20kHz） 0.0008%（-40dB / 1kHz / 10Hz-20kHz）	■消費電力	最大 16W / 標準 12W
		■備考	リモコン付属
		■価格	¥4,400,000（税込）、¥4,000,000（税別）

*ここに記載の内容は改良等のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



〒 105-0022 東京都港区海岸 2-7-70
TEL.03-5419-1594 FAX.03-5419-1591
http://www.electori.co.jp/con_top.html